

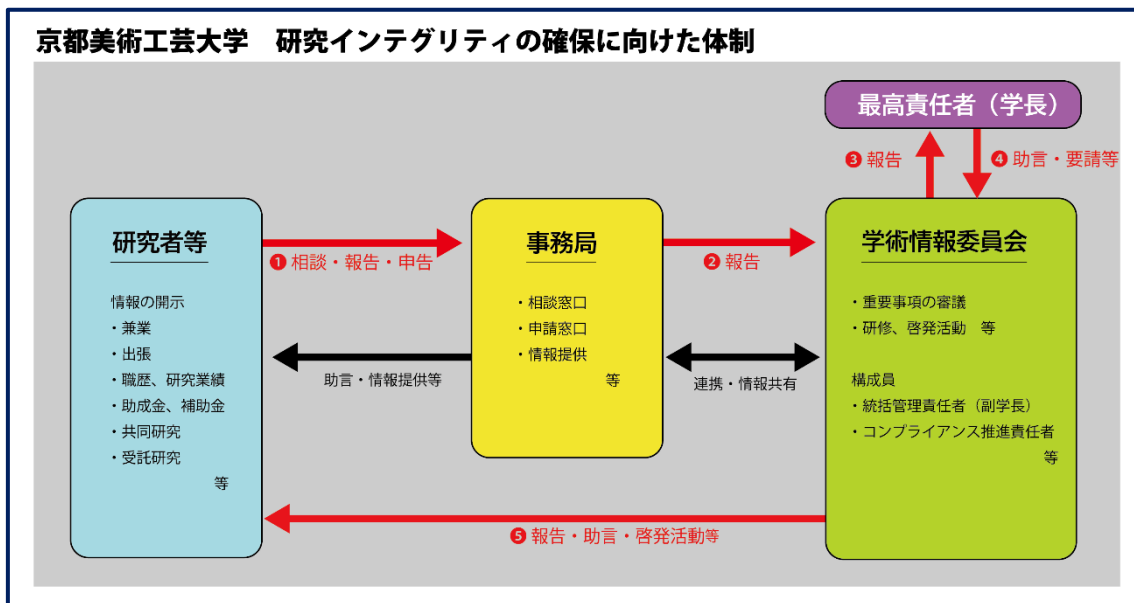
研究インテグリティについて

研究活動の国際化、オープン化に伴う新たなリスクにより、開放性、透明性といった研究環境の基盤となる価値が損なわれる懸念や研究者が意図せず利益相反・責務相反に陥る危険性が指摘されています。

こうした中、我が国として国際的に信頼性のある研究環境を構築することが、研究環境の基盤となる価値を守りつつ、必要な国際協力及び国際交流を進めていくために不可欠となっています。

本学においても「京都美術工芸大学研究インテグリティの確保に関する規程」を制定し、下記の体制で国際的に信頼性のある研究環境を構築していきます。

研究インテグリティ・マネジメントの確保に向けた体制



研究インテグリティに関する相談窓口

京都美術工芸大学事務局 TEL : 075-525-1515

E-mail : kaken@kyobi.ac.jp